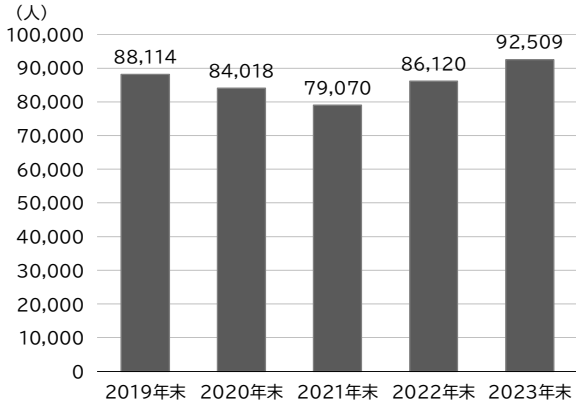


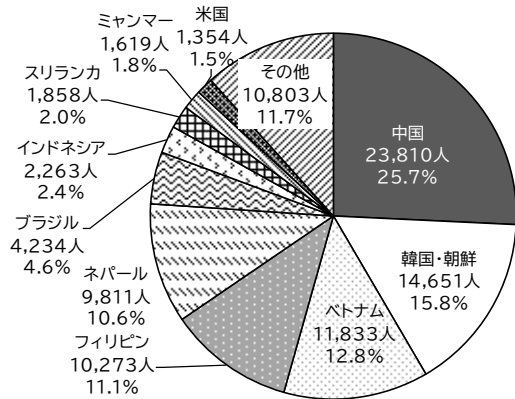
地域日本語教育に関する調査結果 概要版

外国人住民の状況(外国人住民統計より)

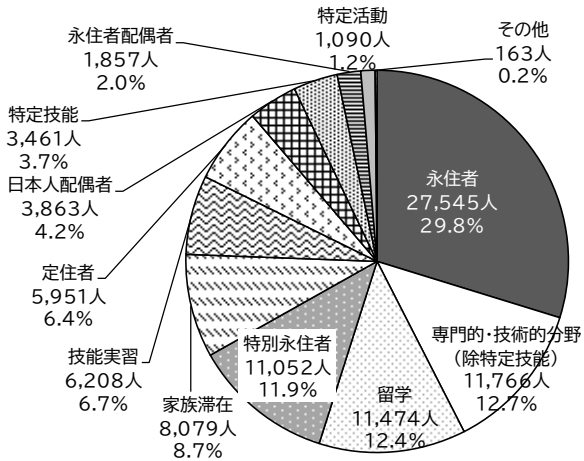
■外国人住民人口の推移



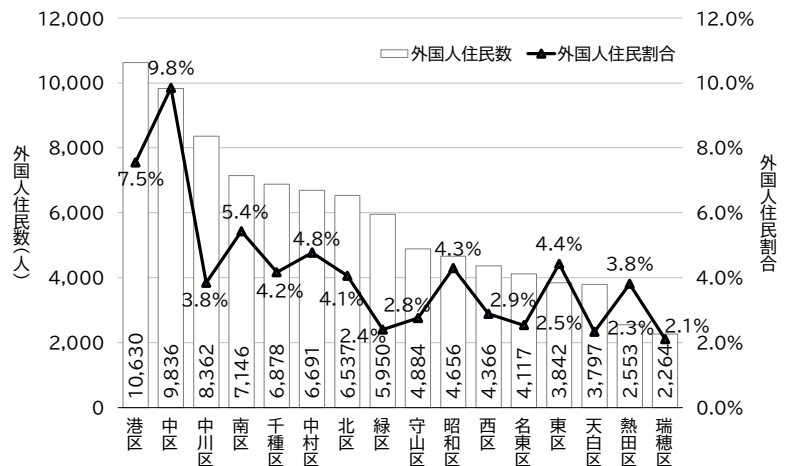
■主な国籍別外国人住民人口の割合(2023年末)



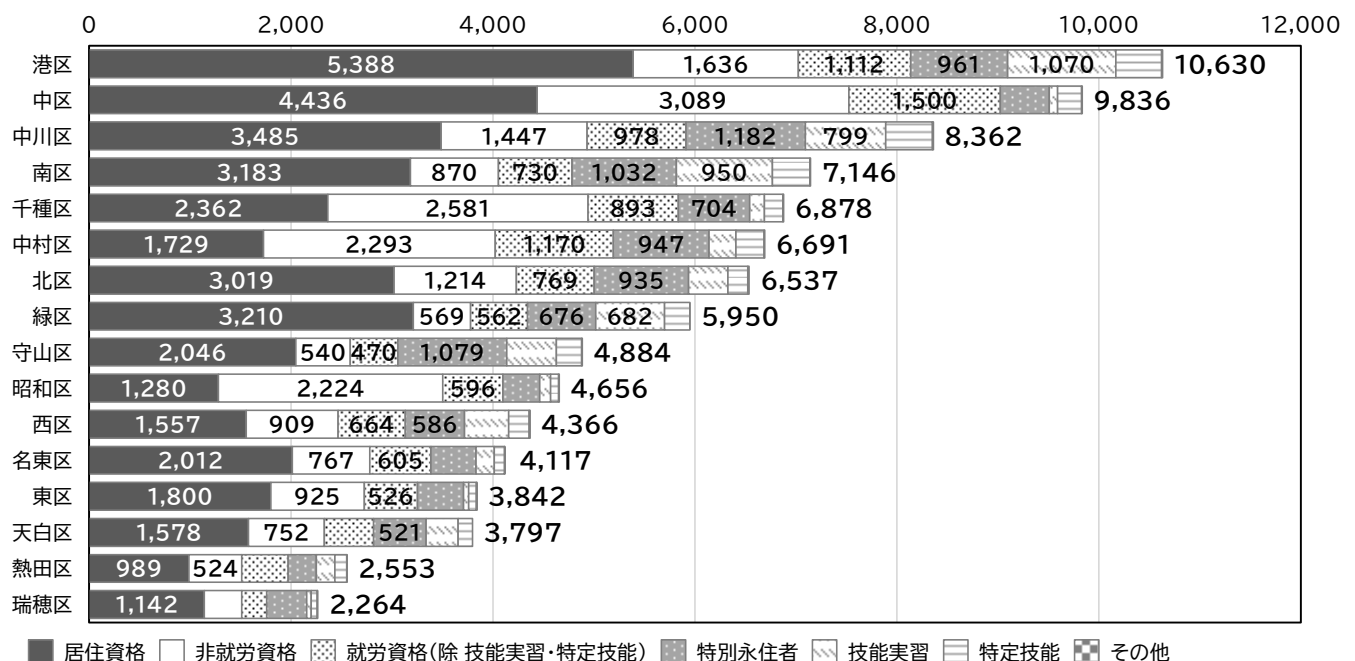
■在留資格別外国人住民の割合(2023年末)



■区別外国人住民人口と割合(2023年末)



■区別・在留資格別外国人住民人口(2023年末)



※500 未満の数値は省略。省略された数値については本編を参照。

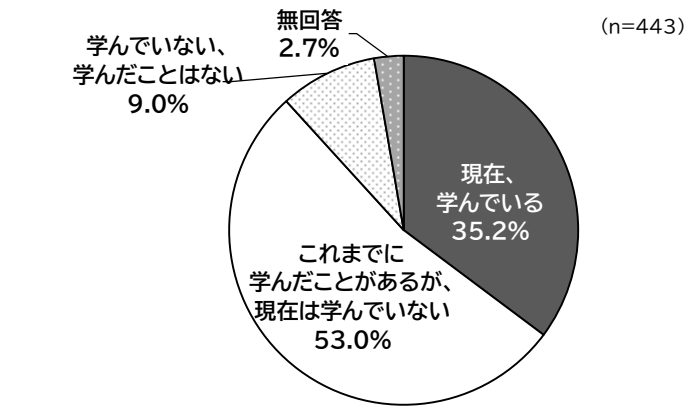
外国人住民の日本語学習に関する意向(外国人住民アンケート調査結果より)

<調査の概要>

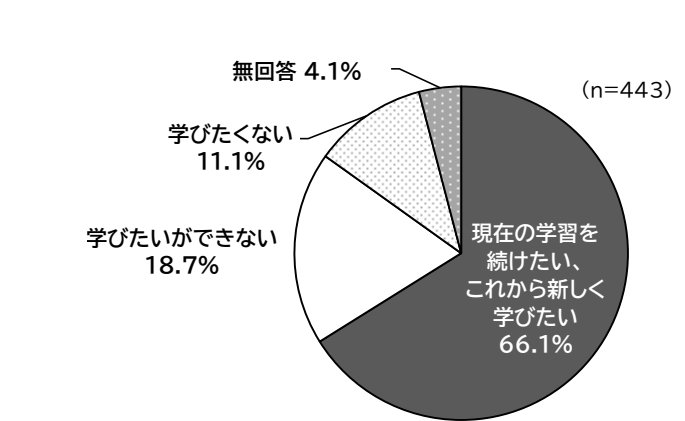
外国人住民の日本語学習に関する実態と意向を把握するアンケート調査を実施しました。
調査期間：2024 年 8 月 23 日～9 月 16 日 対象：3,000 人 回答者：443 人

<調査結果>

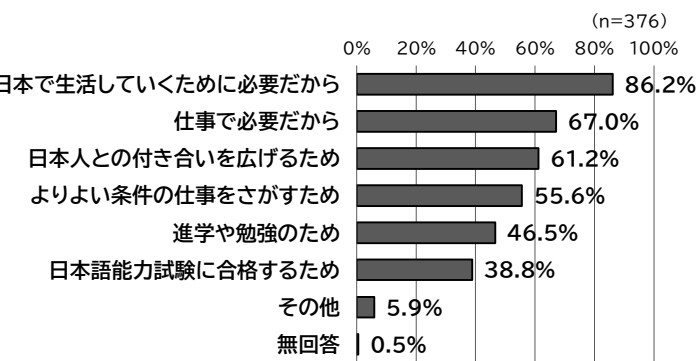
■日本語学習の経験



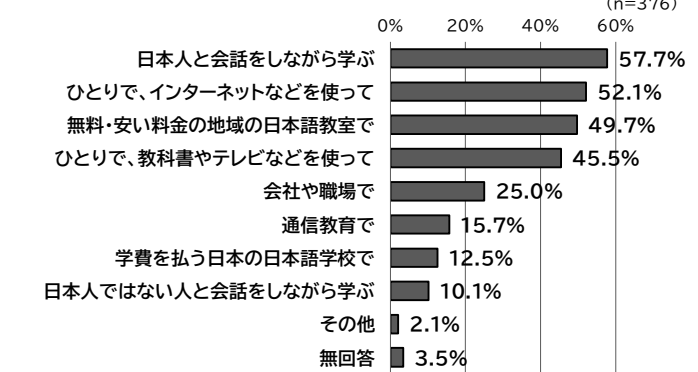
■日本語学習の意向



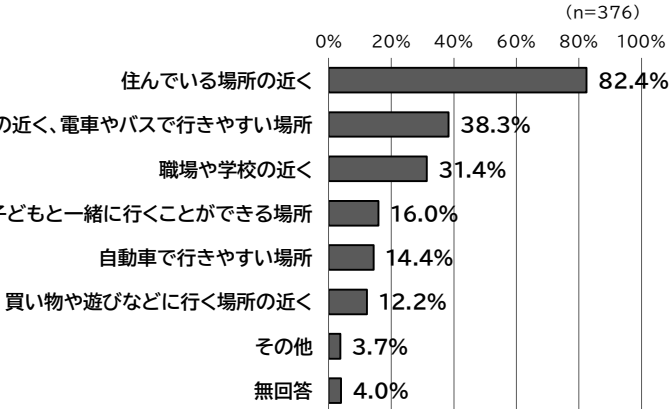
■日本語を学習したい理由(複数回答)



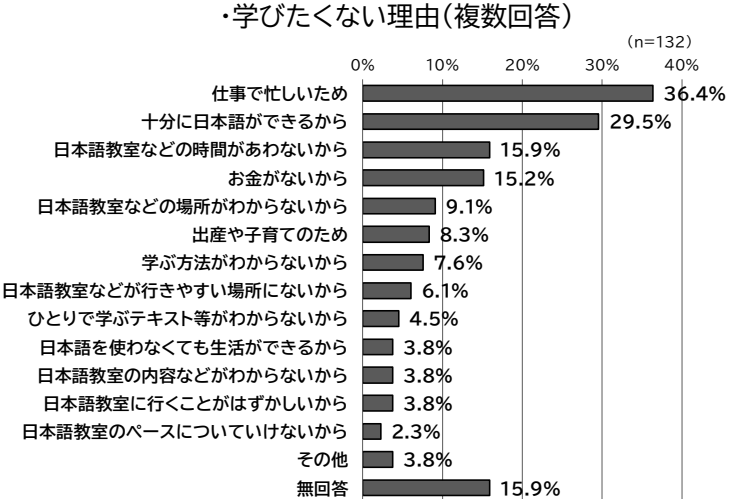
■これから日本語を学びたい方法(複数回答)



■日本語を学びたい場所(複数回答)



■日本語を学びたいができない



地域日本語教室の状況(地域日本語教室アンケート調査結果より)

<調査の概要>

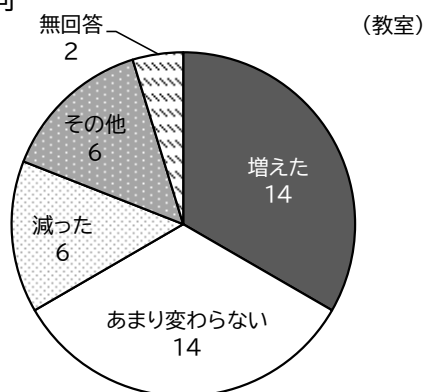
名古屋市内の日本語教室の現状と今後の意向を把握するアンケート調査を実施しました。

調査期間：2024年5月16日～5月30日

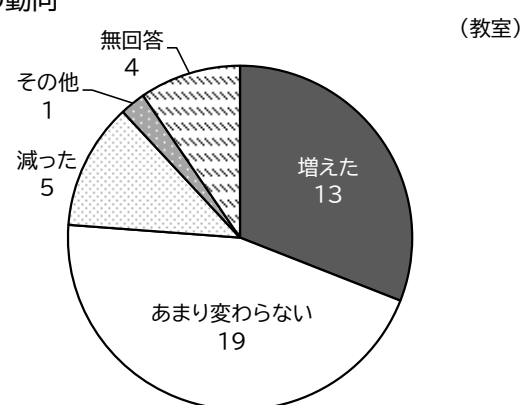
対象：市内日本語教室リストに掲載されている42教室 回答者：42教室

<調査結果>

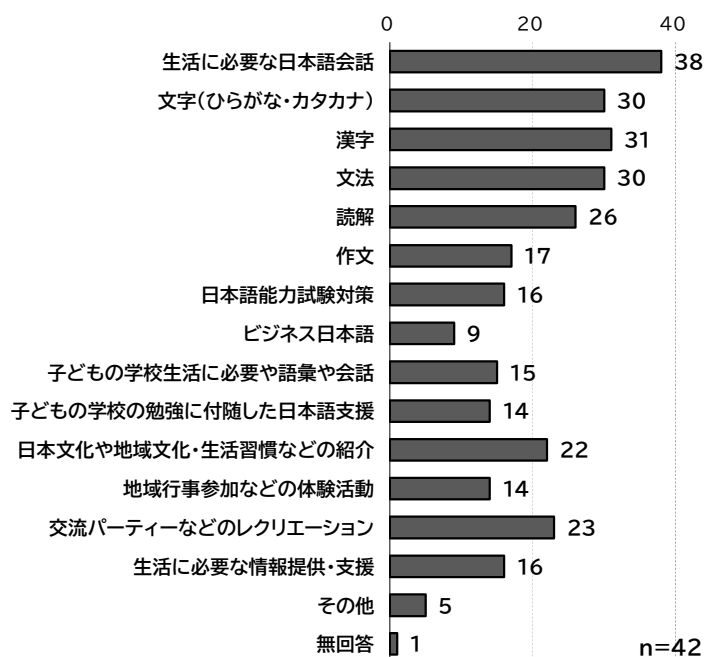
■学習者数の動向



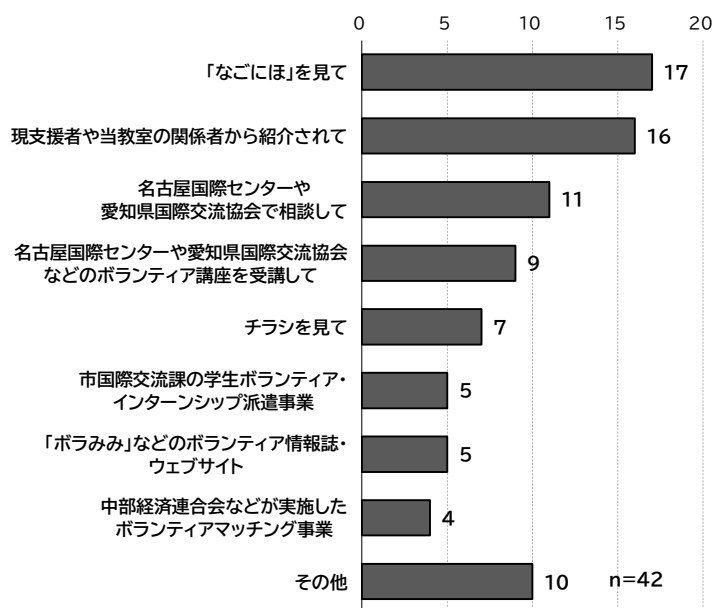
■支援者数の動向



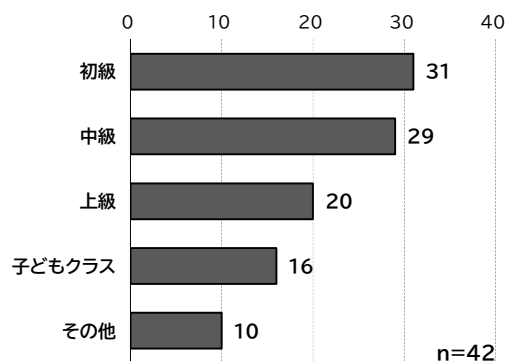
■学習内容・目的(複数回答)



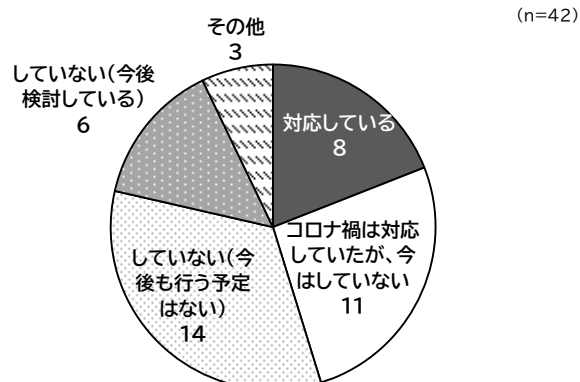
■新しい支援者が参加したきっかけ(複数回答)



■開講クラス・レベル(複数回答)



■オンライン学習への対応状況(複数回答)



ヒアリング調査結果(地域日本語教室、地域関係者等)

<調査の概要>

日本語教育に関する実態を把握するためヒアリング調査を実施しました。

調査期間：2024 年 6 月 27 日～9 月 13 日

対象：市内日本語教室 11 教室、外国人市民に関する 12 機関・団体

<調査結果>

■教室の運営面に関する意見

- ・日本語教室の持続的な運営に向けた活動予算や会場の確保が難しい。
- ・日本語学習支援者が不足している。
- ・支援者の高齢化が懸念されている。
- ・新規の支援者が定着しない。

■学習者に関する意見

- ・学習を希望する外国人市民に日本語教室の情報が十分に届いていない。
- ・学習者が継続して学習することが難しい。

■子どもの日本語教育等に関する意見

- ・外国にルーツを持つ子どもについて、生活言語はできても学習言語ができず学校教育についていけない。学校に居場所がないことで学校に通えていない。
- ・親が日本語を話せない場合に周囲と子どもの親とのコミュニケーションがうまくいかない、子どもが親の通訳になっている。

■地域における日本語に関する困り事

- ・地域におけるごみや騒音等の課題があり、外国人市民への伝え方等に困難を感じている。
- ・公共施設や公的機関での行政手続等において日本語能力で困っている外国人市民が多く、職員向けのやさしい日本語の取組の充実が必要である。

地域日本語教育に関する調査結果

名古屋市 観光文化交流局 国際交流課 公益財団法人 名古屋国際センター事業課

TEL:052-972-3061 MAIL: a3061@kankobunkakoryu.city.nagoya.lg.jp
